

## 商学研究科 教員情報

＜経済系列＞

氏名	山田 知明（やまだ ともあき）	
担当専修科目	前期課程:「経済政策論特論」「経済政策論特論演習」	
研究テーマ	Heterogeneity in Macroeconomics	
研究指導領域	<p>動学的一般均衡理論に基づいて、様々な経済問題を定量的に分析する研究者を養成します。具体的なトピックとしては、経済格差やそれに伴う再分配政策、社会保障制度、健康保険制度などを想定しています。またマイクロデータを用いた家計の消費・貯蓄行動及び消費者行動の構造推計に対しても対象とします。</p>	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Dynamic general equilibrium model with heterogeneous agents</li> <li>・Consumption and savings</li> <li>・Inequality</li> <li>・Social security system</li> </ul>	
志願者への メッセージなど	英語と数学、プログラミングスキル(C・Fortran・Matlab・Python・R・Juia etc)を学んでください。	

## 商学研究科 教員情報

＜経済系列＞

氏名	海老名 剛（えびな たけし）	
担当専修科目	前期課程:「産業組織論特論」「産業組織論特論演習」	
研究テーマ	企業の製品差別化・合併・イノベーション戦略と独占禁止法への応用 不確実性下の企業の投資行動と最適政策	
研究指導領域	産業組織の理論に基づき、企業戦略や政府の競争政策を分析する研究者を養成します。具体的なトピックスとしては、産業組織で扱う製品差別化、合併、価格差別、研究開発、参入・撤退、垂直統合等を想定しています。主として、理論分析に基づき指導を進めます。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪Product differentiation</li> <li>▪Merger and acquisition</li> <li>▪Price discrimination</li> <li>▪Research and development</li> <li>▪Competition policy</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪</li> <li>▪</li> <li>▪</li> <li>▪</li> <li>▪</li> </ul>
志願者への メッセージなど	教員の研究手法より、理論分析に興味を持つ志願者を歓迎します。実証分析に興味がある場合、事前に必ず相談をしてください。早い段階で、査読付国際学術雑誌に掲載されるような論文を書けるよう、指導を進めます。	

## 商学研究科 教員情報

＜経済系列＞

氏名	高浜 光信（たかはま みつのぶ）	
担当専修科目	前期課程：「国際経済学特論」「国際経済学特論演習」 後期課程：「国際経済学特殊研究」「国際経済学特殊演習」	
研究テーマ	通貨統合，国際通貨の選択と国際通貨システム改革に関わる理論・実証分析	
研究指導領域	国際マクロ経済学に関する理論・実証分析。特に、共通通貨ユーロをめぐる、通貨統合の経済効果に関する理論・実証分析を中心に研究を行っている。その他、各国の国際収支構造の分析、国際間のマネーフロー、通貨投機のメカニズム、東アジアにおける金融協力や、通貨圏形成と各国間の国際貿易構造の関係、国際通貨の生成過程や国際通貨制度に関する史的過程等についても関心をもっている。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際マクロ経済学</li> <li>・国際通貨システム</li> <li>・為替レート動学</li> <li>・通貨統合</li> <li>・国際収支</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際資本移動</li> <li>・経済成長と国際貿易</li> <li>・国際通貨の選択</li> <li>・貨幣論</li> <li>・国際貿易論</li> </ul>
志願者へのメッセージなど	経済学の理論モデルに基づく考え方や実証手段の習得とともに、歴史や現実の制度に対して深い関心をもつ志願者を希望します。	

## 商学研究科 教員情報

＜商業系列＞

氏名	竹村 正明 (たけむら まさあき)	
担当専修科目	前期課程:「商業理論特論・演習」 後期課程:「商業理論特殊研究・演習」	
研究テーマ	お金儲けをするのは、なぜ難しいのかについての理論的研究 Theoretical understanding on business: Why business does not work we expected?	
研究指導領域	I can contribute your academic carrier by mainly two scientific procedures. The first one is the emprical study. I have conducted several emprical studies in my academic carrier, not only survey, but also field work. I call both as emprical studies. Only emprical study, I recognize the task in university. The second one is methodologies. I believe that methodological diversification is acceptable in the university research. Any method will be accepted, if it could be said it was scientific.	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪Competitiveness</li> <li>▪Competitives Strategy</li> <li>▪Economic Growth</li> <li>▪Methodology</li> </ul>	
志願者への メッセージなど	There is no opportunity in which only study you can during your academic carrier, except studying in graduate school. Study, study, study. Again study. Only study hard. Nothing else.	

## 商学研究科 教員情報

＜商業系列＞

氏名	若林 幸男（わかばやし ゆきお）	
担当専修科目	前期課程:「日本流通史特論」「日本流通史特論演習」 後期課程:「日本流通史特殊研究」「日本流通史特殊演習」	
研究テーマ	商品(一般消費財)の流通のみならず, 産業財(資金や労働力)の流通史, 又, 情報の流通史について主に研究している。	
研究指導領域	本科目は流通およびマーケティングあるいはビジネス(企業)のケースを取り扱う。そこで展開するトピックはアメリカのビッグビジネス、日本のそれ、あるいは流通システムや企業システムそして、基礎にある資金や労働市場、情報システムの特性である。複雑に絡み合うこれらの諸テーマを科学的に分析、解析し、将来の展望につなげるための研究指導が行われることとなる。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流通事業と流通システムの史的展開</li> <li>・企業システムの史的展開</li> <li>・情報の流通経路の発展と企業システムの関連</li> <li>・労働市場の特性と企業のリクルートシステムの変遷</li> <li>・企業戦略についてのケーススタディ</li> </ul>	
志願者への メッセージなど	マーケティング分野では、本研究室はマクロマーケティング部門に位置づけられるが、マネジリアルマーケティングのケースメソッドについても分析領域が及ぶ。歴史的、文化的に事象を相対化する手法を学び、それにより過去の分析から将来の展望を導き出す。こういった方法に興味をもって取り組んでほしい。	

## 商学研究科 教員情報

＜商業系列＞

氏名	原 頼利（はら よりとし）	
担当専修科目	前期課程:「流通システム論特論」「流通システム論特論演習」	
研究テーマ	流通における組織間関係に関する研究	
研究指導領域	サプライヤーから小売業者に至るまでのビジネス・プロセスにおける企業境界、組織間コーディネーション、組織間知識共有、知識やイノベーションの創造などの問題に関心をもっており、講義ではこれらの問題を扱う。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流通チャネル</li> <li>・組織間関係</li> <li>・企業境界</li> <li>・制度</li> <li>・取引コスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケイパビリティ</li> <li>・イノベーション</li> <li>・知識共有</li> </ul>
志願者への メッセージなど	講義では、最新の学術論文(主に英文)を使って、ディスカッションを行なう。教員と同じ研究領域を共有でき、積極的にディスカッションに参加できる学生を歓迎する。	